



平成23年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 静岡瓦斯株式会社

コード番号 9543 URL <http://www.shizuokagas.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 戸野谷 宏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部 (氏名) 森田 将信

TEL 054-284-7990

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第1四半期の連結業績(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	31,996	7.1	3,070	17.6	3,051	17.9	1,605	12.0
22年12月期第1四半期	29,867	△2.9	2,611	△65.0	2,588	△64.9	1,432	△59.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第1四半期	21.08	—
22年12月期第1四半期	18.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第1四半期	114,871	57,140	43.1	650.07
22年12月期	108,362	56,155	44.6	634.36

(参考) 自己資本 23年12月期第1四半期 49,497百万円 22年12月期 48,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	5.00	—	4.00	9.00
23年12月期	—	—	—	—	—
23年12月期(予想)	—	4.50	—	4.50	9.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

平成22年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当4円00銭 記念配当1円00銭(創立100周年記念配当)

3. 平成23年12月期の連結業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	62,140	4.3	1,860	△52.3	1,910	△51.8	720	△67.1	9.45
通期	131,940	11.5	1,850	△74.2	1,910	△73.5	540	△87.5	7.09

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年12月期1Q	76,192,950株	22年12月期	76,192,950株
② 期末自己株式数	23年12月期1Q	50,944株	22年12月期	50,773株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年12月期1Q	76,142,064株	22年12月期1Q	76,142,654株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年2月8日公表の決算短信に記載した平成23年12月期（平成23年1月1日～平成23年12月31日）の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日平成23年5月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」及び【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考) 個別業績予想

平成23年12月期の個別業績予想(平成23年1月1日～平成23年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	56,160	6.3	△ 480	—	460	△ 66.7	520	△ 47.1	6.82
通期	121,290	14.5	△ 2,070	—	△ 1,210	—	△ 520	—	△ 6.82

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 参考情報	11
(1) 四半期個別経営成績等の概況	11
(2) ガス販売量(個別)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成23年1月～3月)は、ガス販売量の増加や原料費調整制度によるガス販売単価の上方調整等により、ガス売上高は前年同期に比べ17億円増の265億円となり、LPG・その他エネルギー売上高及びその他売上高を加えた連結売上高全体では21億円増の319億円となりました。

一方、費用面では、原料使用量の増加等により売上原価が前年同期に比べ15億円増の229億円となりました。

この結果、営業利益は前年同期に比べ4億円増の30億円、経常利益は4億円増の30億円、四半期純利益は1億円増の16億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期末における総資産は、消費税等の還付などによりその他流動資産が減少する一方、現金及び預金が増加したことや原料価格の上昇等により原材料及び貯蔵品が増加したことなどから、平成22年12月期末(以下、「前期末」という。)に比べ65億円増の1,148億円となりました。

負債は、原料価格の上昇等により買掛金が増加したことなどから流動負債が増加し、前期末に比べ55億円増の577億円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから、前期末に比べ9億円増の571億円となり、自己資本比率は43.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、平成22年12月期末に比べ69億円増の76億円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローとその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

減価償却前利益は57億円となり、原料価格の上昇等によりたな卸資産が増加する一方で仕入債務が増加したことなどから、営業活動によるキャッシュ・フローは64億円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

静岡幹線建設工事をはじめとする設備投資を行ったことなどから、投資活動によるキャッシュ・フローは18億円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

既往の長期借入金の返済が進む一方で、新規設備資金を調達したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは23億円の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

年初からの原油価格高騰により、第1四半期の実績の反映と併せ、第2四半期以降の原料価格の想定を見直しました。このため、第2四半期の連結業績予想については、原料費調整制度に基づくガス販売単価の上昇により売上高は11億円増の621億円となる見通しですが、原料費が大幅に増加し、LNG価格の変動がガス販売単価に反映されるまでのタイムラグによる影響額が増加する見込みであることから、営業利益は15億円減の18億円、経常利益は15億円減の19億円、四半期純利益は11億円減の7億円となる見込みです。

また、通期の業績予想についても同様の理由から前回予想を修正し、売上高は88億円増の1,319億円、営業利益は33億円減の18億円、経常利益は33億円減の19億円、当期純利益は23億円減の5億円となる見込みです。

なお、ガス販売量については、東日本大震災の影響により個別のお客さま毎に増減があるものの、全体では前回想定どおりとしております。

(参考) 原油価格・為替レートの想定

原油価格 (全日本CIF)	前回想定	85ドル/bbl (第2～4四半期)
	今回想定	110ドル/bbl (第2～4四半期)
為替レート	前回想定	85円/ドル (第2～4四半期)
	今回想定	85円/ドル (第2～4四半期)

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

(イ) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(ロ) たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(ハ) 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

この変更による損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	28,161	29,291
供給設備	32,146	32,951
業務設備	3,909	3,981
その他の設備	4,835	4,940
建設仮勘定	4,544	3,385
有形固定資産合計	73,597	74,550
無形固定資産	2,004	1,580
投資その他の資産		
投資有価証券	6,844	7,239
長期貸付金	4,571	3,811
繰延税金資産	1,579	1,544
その他投資	916	859
貸倒引当金	△255	△246
投資その他の資産合計	13,656	13,208
固定資産合計	89,258	89,339
流動資産		
現金及び預金	7,682	756
受取手形及び売掛金	9,506	8,989
商品及び製品	331	305
原材料及び貯蔵品	5,811	4,573
繰延税金資産	826	831
その他流動資産	1,512	3,625
貸倒引当金	△59	△58
流動資産合計	25,612	19,023
資産合計	114,871	108,362

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	28,980	29,248
繰延税金負債	17	19
退職給付引当金	2,996	2,941
ガスホルダー修繕引当金	200	196
負ののれん	666	725
その他固定負債	637	674
固定負債合計	33,499	33,807
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	7,750	6,882
買掛金	7,004	5,083
短期借入金	4,025	1,586
未払金	1,388	957
未払法人税等	1,144	1,056
賞与引当金	1,014	447
その他流動負債	1,903	2,384
流動負債合計	24,230	18,399
負債合計	57,730	52,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,589	4,589
利益剰余金	37,019	35,718
自己株式	△26	△26
株主資本合計	47,861	46,560
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,626	1,753
繰延ヘッジ損益	9	△12
評価・換算差額等合計	1,636	1,741
少数株主持分	7,642	7,853
純資産合計	57,140	56,155
負債純資産合計	114,871	108,362

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	29,867	31,996
売上原価	21,348	22,901
売上総利益	8,519	9,094
供給販売費及び一般管理費	5,908	6,024
営業利益	2,611	3,070
営業外収益		
受取利息	15	23
受取配当金	1	1
負ののれん償却額	62	58
雑収入	66	62
営業外収益合計	145	145
営業外費用		
支払利息	165	150
雑支出	3	14
営業外費用合計	169	164
経常利益	2,588	3,051
特別損失		
固定資産売却損	2	—
投資有価証券評価損	—	219
特別損失合計	2	219
税金等調整前四半期純利益	2,585	2,831
法人税等	951	1,004
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,826
少数株主利益	200	221
四半期純利益	1,432	1,605

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,585	2,831
減価償却費	3,163	2,906
負ののれん償却額	△62	△58
有形固定資産除却損	12	7
投資有価証券評価損益(△は益)	—	219
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9	9
退職給付引当金の増減額(△は減少)	33	54
ガスホルダー修繕引当金の増減額(△は減少)	7	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	569	566
受取利息及び受取配当金	△16	△24
支払利息	165	150
有形固定資産売却損益(△は益)	2	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,218	△526
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,361	△1,262
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,378	1,995
未払又は未収消費税等の増減額	△1,330	911
その他	△1,021	△679
小計	△1,839	7,105
利息及び配当金の受取額	16	24
利息の支払額	△208	△188
法人税等の支払額	△3,204	△449
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,236	6,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19	△13
定期預金の払戻による収入	22	13
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,489	△2,494
有形及び無形固定資産の売却による収入	2	1
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付けによる支出	△900	△810
貸付金の回収による収入	54	49
工事負担金等受入による収入	79	23
その他	443	1,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,807	△1,872
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,604	2,438
長期借入れによる収入	3,150	2,150
長期借入金の返済による支出	△2,041	△1,550
配当金の支払額	△304	△296
少数株主への配当金の支払額	△13	△434
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,394	2,305
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,648	6,926
現金及び現金同等物の期首残高	5,046	734
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,398	7,660

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

(単位：百万円)

	ガス	LPG・その他エネルギー	その他	計	消去又は は全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	24,664	3,144	2,058	29,867	—	29,867
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	191	96	1,278	1,566	(1,566)	—
計	24,855	3,241	3,337	31,434	(1,566)	29,867
営業利益	2,891	384	24	3,300	(689)	2,611

〔セグメント情報〕

①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、都市ガス及びLPG普及を中心とした「総合エネルギー事業」を展開することを基本としており、製品・サービス別のセグメントである「ガス」及び「LPG・その他エネルギー」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品・サービスは以下のとおりであります。

「ガス」・・・ガス、LNG

「LPG・その他エネルギー」・・・LPG、オンサイト・エネルギーサービス

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・その 他エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	26,458	3,245	29,704	2,291	31,996	—	31,996
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	140	104	245	806	1,052	△ 1,052	—
計	26,599	3,350	29,950	3,098	33,048	△ 1,052	31,996
セグメント利益	3,365	347	3,712	94	3,807	△ 736	3,070

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△736百万円には、セグメント間取引消去68百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△805百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 参考情報

(1) 四半期個別経営成績等の概況(平成23年1月1日～平成23年3月31日)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第1四半期	28,655	9.1	1,583	31.2	2,510	90.1	1,834	106.0
22年12月期第1四半期	26,265	△2.6	1,207	△23.9	1,320	△19.4	890	△18.5

	総資産	純資産
	百万円	百万円
23年12月期第1四半期	93,677	30,722
22年12月期	89,140	29,293

四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象となりません。四半期個別財務諸表は四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

(2) ガス販売量(個別)

		当第1四半期 (23/1～23/3)	前年同四半期 (22/1～22/3)	増減	増減率(%)	
お客さま数		戸	314,660	316,816	△2,156	△0.7
ガス 販 売 量	家庭用	百万m ³	31	31	0	0.7
	商業用	〃	8	8	0	2.1
	工業用	〃	175	170	6	3.4
	その他用	〃	10	10	0	1.7
	卸売	〃	138	112	26	23.0
合計		〃	362	330	32	9.7
大口販売量		〃	174	168	6	3.7

(注) 1 「お客さま数」は、期末取付メーター数を記載しております。

2 「お客さま数」には、卸販売先のお客さま数は含みません。

3 販売量は1m³当たり45MJ換算し、表示単位未満を四捨五入して表示しております。